

教員公募

1. 職名・人員 准教授、講師または助教 1名
2. 所属学科 生産デザイン工学科 一般科目（理科系）
3. 専門分野 物理学・実験物理学
4. 担当予定科目 本科：物理AI・AII・BI・BII・CI・CII、総合科学I（アースサイエンス）、応用物理など
専攻科：物理学特論I・II・III
上記のうちから週8コマ(1コマ90分)程度
5. 応募資格 次の条件を全て満たす方
 - (1) 博士の学位を有するか採用時まで取得見込の方、またはそれと同等以上の能力を有すると認められる方
 - (2) 高等専門学校での教育、研究、学生指導（クラス担任、クラブ顧問、寮生活指導等）を含む各種校務にも熱意をもって取り組める方
 - (3) 国籍は問わないが、クラス担任・各種委員等の職務を遂行するに足りる日本語運用能力を有する方
 - (4) 実験実習並びに実験室の管理・運営・保守等ができる方
 - (5) 本校の教育理念を理解し、学校運営にも協調して参加できる方
6. 採用予定日 令和8年9月1日以降のできるだけ早い時期
7. 提出書類
 - (1) 履歴書（写真貼付） (第1号様式)
 - (2) 著書・論文等一覧 (第2号様式)
 - (3) 著書・論文の概要（5編以内） (第3号様式)
 - (4) 高等専門学校における教育・研究に携わる抱負 (第4号様式)
 - (5) 第3号様式記載著書・論文別冊（コピー可）
 - (6) 推薦書1通、もしくは応募者について問合せの
できる方1名の氏名・所属・職位・連絡先 (A4用紙、任意様式)

注：各様式は本校のホームページからダウンロードできます。“記載上の注意”を熟読のうえ、書類を作成してください。応募者の個人情報、北九州工業高等専門学校の教員採用選考及び採用手続きのためにのみ利用いたします。提出された書類等の返却はいたしません。

8. 選考方法
 - 第1次選考 書類審査
 - 第2次選考 面接・模擬授業
(第1次選考合格者のみ、旅費は応募者負担)

9. 応募締切

令和8年6月18日（木） 必着

10. 書類の提出先

〒802-0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号

北九州工業高等専門学校 総務課人事係

電話 093-964-7211

FAX 093-964-7214

E-mail s-jinji@kct.ac.jp

*応募の際は封筒の表に「一般科目（物理）教員応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は必ず簡易書留で郵送してください。

11. そ の 他

キャリア形成を支援する観点から、他の国立高等専門学校をはじめとして人事交流などにより異動することがあります。また、本公募では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、総合評価において同等と認められる場合には女性応募者を優先します。

12. 問 合 せ 先

北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科

一般科目長 牧野 伸一

電話 093-964-7301 E-mail makino@kct.ac.jp

(参考) 北九州高専の教員が携わる授業以外の職務の概要(一般科目)

北九州工業高等専門学校は、独立行政法人国立高等専門学校機構に所属する高等専門学校として運営されています。本校には、本科(5年)と専攻科(2年)があり、卒業後は就職だけでなく、本科卒業後に大学への編入や、専攻科修了後に大学院へ進学する学生もいます。幅広い年齢層の学生を対象としていることから、大学や高等学校の教員とは異なる役割が求められ、教育、研究、学校運営、学生の生活指導などに幅広く対応する必要があります。以下では、北九州高専の教員の授業(実験実習等を含む)以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

(1) クラス担任

クラス担任は1クラス40人程度の学生に対して、勉学や生活、進路に関する相談など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば、毎朝のショートホームルームでの出欠確認や、放課後の教室清掃の指導を行い、体育大会や高専祭(文化祭)など各種行事での学生指導、学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

(2) クラブ顧問

ほぼ全ての教員が、クラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会(地区大会・全国大会)の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率・指導などを行っています。

(3) 学生寮の宿直

本校では、原則として全教員に学生寮の宿直が割り当てられています。学生寮委員以外は年数回の割り当てですが、本校は女子寮も設置されており、女性教員による宿直もあります。

(4) 研究

高専の教員は、学術の進展に即応させるために研究することを法律で義務づけられています。教員には、研究に対する意欲的な姿勢と、研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。

(5) 学校運営のための各種委員会等

教務委員会、厚生補導委員会、学生寮委員会をはじめ、各種の委員会があり、教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。全ての教員は何らかの委員会に所属し、委員会の業務を分担して行います。

(6) 社会貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前授業などや、地域社会からの要望に応じた地域連携活動を展開しています。地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え、地域に根差した高専としての存在を高めるためにも、高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が求められます。